



盲導犬ユーザーと 共生社会を考える

障害者差別解消法改正に伴い、4月から民間事業者も障害者への合理的配慮の提供が義務付けられることを受け、日本盲導犬協会は15日、中高生向け講習会「盲導犬ユーザーと共に

盲導犬を連れてきた落合さんの案内に挑戦する生徒
静岡市葵区

常葉中で講習会 困っていたら「声かけて」

富士宮市の日本盲導犬総合センター「富士ハーネス」職員の山本ありさんと盲導犬ユーザー落合敦子さん(62)「富士市」が同校を訪れた。10年以上にわたり盲導犬との生活を続けている落合さんは「視野は100%ない。視力も弱く、暗くなってくると道も白線もあまり見えないう」などと自身の見え方を紹介し、盲導犬を使って歩く様子も実演した。山本さんは「盲導犬ユーザーがぎよるぎよるしていたら、道に迷っている可能性がある。どう手伝えは良いか、少しの勇氣を持って声をかけコミニケーションを取ってほしい」と呼びかけた。

盲導犬を連れてきた落合さんの道案内に挑戦した名木美菜弥さん(15)は「初の経験で緊張したが、困っている人を見かけたら声をかけて助けてほしい。思いやりを持ち、人に役立つ存在でいたい」と話した。

(社会部・吉田史弥)

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①記事の講習会は、どんな目的で行われましたか。
()
- ②障害者への合理的配慮の提供が義務付けとなるよう改正される法律は何ですか。
()
- ③盲導犬ユーザーはどんな願いを持っていますか。記事から分かることを書きましょう。
()
- ④盲導犬ユーザーを見かけたとき、あなたはどんな行動をとろうと思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

盲導犬ユーザーと 共生社会を考える

障害者差別解消法改正に伴い、4月から民間事業者も障害者への合理的配慮の提供が義務付けられることを受け、日本盲導犬協会は15日、中高生向け講習会「盲導犬ユーザーと共に



常葉中で講習会 困っていたら「声かけて」

社会について考える」を静岡市葵区の常葉大常葉中で開いた。3年生36人が誰もが住みやすい社会に向けた心構えを考え

た。
富士宮市の日本盲導犬総合センター「富士ハーネス」職員の本山ありきさんと盲導犬ユーザー落合敦子さん(62)「富士市」が同校を訪れた。10年以上にわたり盲導犬との生活を続けてい

る落合さんは「視野は100%ない。視力も弱く、暗くなると道も白線もあまり見えな

い」などと自身の見え方を紹介し、盲導犬を使って歩く様子も実演した。山本さんは「盲導犬ユーザーがきよろきよろしていたら、道に迷っている可能性がある。どう手伝えは良いか、少しの勇気を持って声をかけコミュニケーションを取ってほしい」と呼びかけた。

盲導犬を連れた落合さんの道案内に挑戦した名木美菜弥さん(15)は「初の経験で緊張したが、困っている人を見かけたら声をかけて助けてほしい。思いやりを持ち、人に役立つ存在でいたい」と話した。

(社会部・吉田史弥)

盲導犬を連れた落合さんの案内に挑戦する生徒

静岡市葵区

記事を読んで、問いに答えましょう。

①記事の講習会は、どんな目的で行われましたか。

(例)盲導犬ユーザーと共に共生社会について考える目的。

②障害者への合理的配慮の提供が義務付けとなるよう改正される法律は何ですか。

(障害者差別解消法)

③盲導犬ユーザーはどんな願いを持っていますか。記事から分かることを書きましょう。

(例)

道に迷っているような可能性があるときは、少しの勇気を持って声をかけコミュニケーションを取ってほしい。

④盲導犬ユーザーを見かけたとき、あなたはどんな行動をとろうと思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

・困っていることがないかなど、積極的に話しかけるようにしたい。(30字)

・声をかけることで何をしてほしいかを理解して行動につなげたい。(30字) など

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏

(小学校高学年～中学校/道徳、総合)